

# インターネットが変わる インターネットを変える

2007年11月22日

総務省総合通信基盤局事業政策課長  
谷脇 康彦

## ネットワークの中立性

### ネットワークの中立性(network neutrality)を確保するための三原則 ---ブロードバンド政策における基本的認識---

「自律・分散・協調」を基本精神とするインターネットの潜在能力が最大限発揮され、インターネットを利用するすべてのステークホルダにとっての利益の最大化が図られることが必要であり、

- 1) 消費者がネットワーク(IP網)を柔軟に利用して、コンテンツ・アプリケーションレイヤーに自由にアクセス可能であること
- 2) 消費者が技術基準に合致した端末をネットワーク(IP網)に自由に接続し、端末間の通信を柔軟に行なうことが可能であること
- 3) 消費者が通信レイヤー及びプラットフォームレイヤーを適正な対価で公平に利用可能であること

という3つの要件を基本原則とし、当該要件に合致したネットワークが維持・運営されている場合、ネットワークの中立性が確保されている。

ネットワークのコスト負担の公平性

ネットワークの利用の公平性

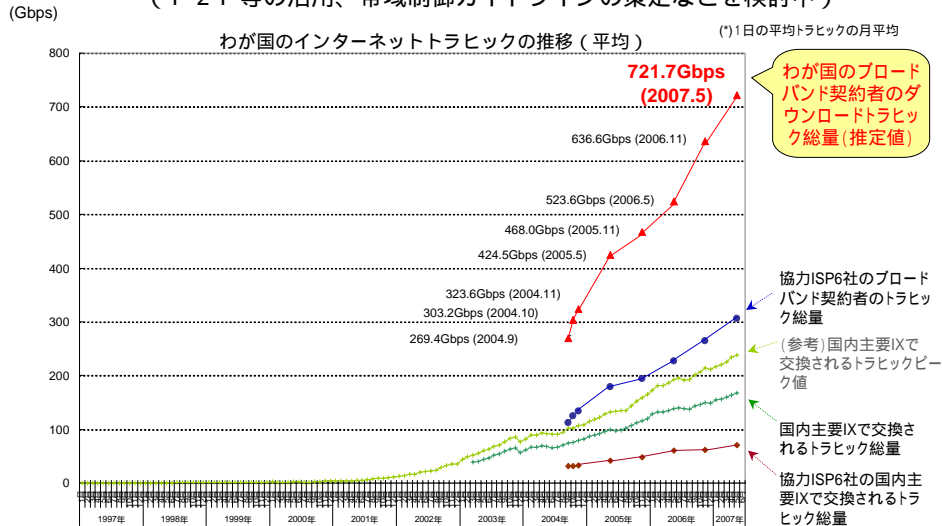
ネットワークの中立性とは、  
社会インフラとして認めうるだけの堅牢性を持った  
インターネットの「今後の在り方」を模索するための議論。

## インターネットを巡る7つの視点

### 視点1 インターネットはインフラとして耐えうるのか？

2年で2倍のトラフィックの急増 ネットワークのスケラビリティは確保可能か。

(P2P等の活用、帯域制御ガイドラインの策定などを検討中)

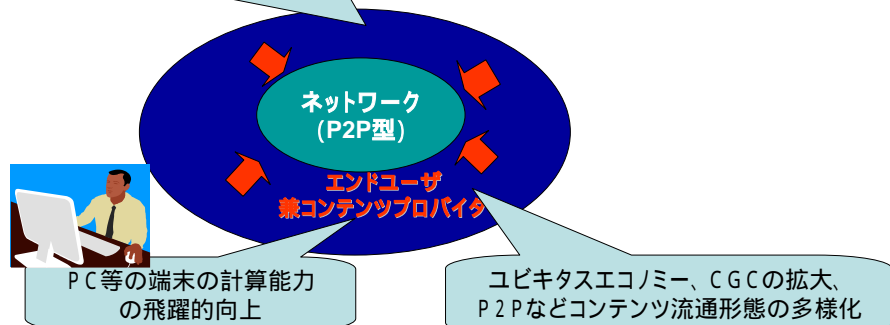


## インターネットを巡る7つの視点

### 視点2 セマンティックウェブは実現可能か？

管理不能な膨大な情報 サイバー空間での情報爆発に耐えられるか。

端末とサーバー側のインテリジェンスを連携させるサービス展開

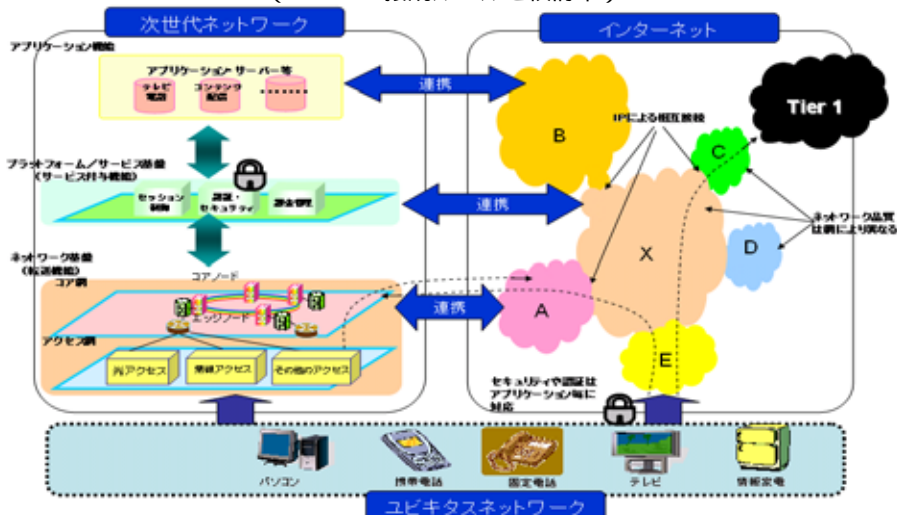


## インターネットを巡る7つの視点

### 視点3 ネットワークの選択の自由が確保可能か？

次世代ネットワーク（NXGN）とインターネットは並存可能か。

（NGNの接続ルールを検討中）



## インターネットを巡る7つの視点

### 視点4 利用者利益は確保可能か？

ベストエフォートの考え方は維持可能か。また、新しいビジネスモデルの登場（助け合いモデル、広告モデル）に適応した競争環境整備は必要か。

#### 新競争促進プログラム2010（07年10月改定）

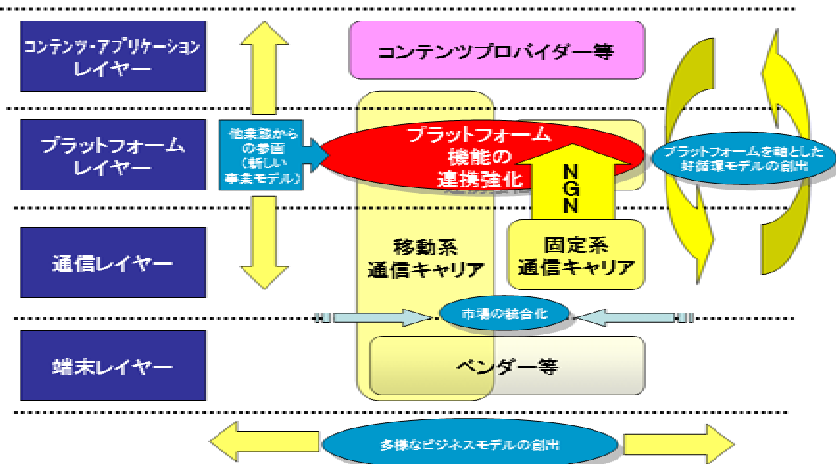
ネットワークの中立性と競争モデルの在り方に関する検討

従来と異なる収益モデルを有するビジネスモデルの登場、インターネットのボーダレス化が競争環境に及ぼす影響、これに関連するインターネットガバナンスの在り方、IPv4からIPv6への移行に伴う市場環境整備の在り方、地方におけるISPやCATV事業者等のビジネス展開の方向性など、ネットワーク構造や市場環境が大きく変わる中において、ネットワークの中立性と競争モデルの在り方に関連する広範にわたる中期的な政策課題を抽出・整理することを目的として、07年度中に新たな検討の場を設置し、08年中を目途に一定の結論を得る。

## インターネットを巡る7つの視点

### 視点5 端末は引き続き端末か？

各レイヤーが連携したビジネスモデル作りのための環境整備として、何を考えるべきか。端末、NW、アプリ等の責任分担モデルの検討も必要。



## インターネットを巡る7つの視点

### 視点6 電腦民主主義は実現するか？

国境を越えたサイバー社会の抱える問題は解決可能か。

(法律は国境を越えられない。。。)

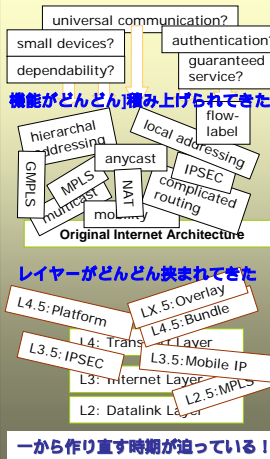
- ✓インターネットのボーダーレス化が競争環境に及ぼす影響
  - ✓これに関連するインターネットガバナンスの在り方
  - ✓IPv4からIPv6への移行に伴う市場環境整備の在り方
- など。。。 (etc. ....)

## インターネットを巡る7つの視点

### 視点7 新世代ネットワークはいつ実現するのか？

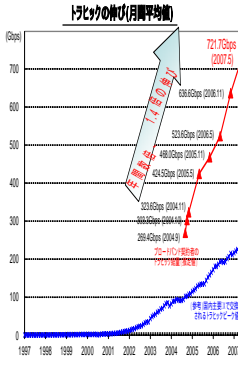
次世代ネットワーク (NXGW) から新世代ネットワーク (NWGN) への移行は円滑に実現するか。

#### (1) あまりにも複雑



#### (2) トラフィックの爆発

直近1年間で1.4倍の伸び。  
(ビデオダウンロード等が増加)



#### (3) セキュリティ問題

ネットワークセキュリティに対する脅威はますます悪質化・巧妙化 (ボットなど)

個人のセキュリティ被害  
何らかの被害を受けた人: 54.7%

ウイルス被害届出件数  
85,700件

企業のセキュリティ被害  
何らかの被害を受けた企業:  
68.1%

情報セキュリティ関連市場製品・サービス全体で  
約2,000億円(推計)

視点1 インターネットはインフラとして耐えうるのか？

視点2 セマンティックウェブは実現可能か？

視点3 ネットワークの選択の自由が確保可能か？

視点4 利用者利益は確保可能か？

視点5 端末は引き続き端末か？

視点6 電腦民主主義は実現するか？

視点7 新世代ネットワークはいつ実現するのか？

